

国立成育医療研究センター主催

妊娠と薬情報センター 開設6周年記念フォーラム

「精神神経系薬剤のトレンドと安全性」

平成23年11月6日(日) 10:30~16:30

京王プラザホテル「エミネンスホール」

会場整理費:6000円(軽食代を含む)

各認定単位:

日本医師会生涯教育制度の認定単位(5単位)

日本薬剤師研修センター認定単位(3単位)

日本病院薬剤師会 妊婦・授乳婦に関する講習単位(2.25単位)

・セミナー

座長: 国立成育医療研究センター妊娠と薬情報センター副センター長 渡邊 央美

1 「女性のうつ病の特徴」

順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院

メンタルクリニック 教授

鈴木 利人

2 (ランチョン) 「抗うつ薬が胎児、新生児に及ぼす影響」

東京大学医学部小児科

妊娠と薬情報センター

伊藤 直樹

・シンポジウム

座長: 国立成育医療研究センター母性医療診療部長 妊娠と薬情報センター長 村島 温子

「OTIS(北米催奇形性情報サービス)歴史と展望」*同時通訳あり

カリフォルニア大学サンディエゴ校 医学部小児科教授

Christina D.Chambers

「最新の双極性障害の治療—情動安定化薬(抗てんかん薬)の使い方—」

千葉大学大学院医学研究院精神医学 准教授

渡邊 博幸

「授乳期の精神神経系薬剤使用:その安全性と問題点」

トロント大学・トロント小児病院 小児科教授

伊藤 真也

後援:(一社)日本総合病院精神医学会
(一社)日本臨床精神神経薬理学会
(社)日本病院薬剤師会
(社)日本医師会 (社)日本薬剤師会
(社)日本精神神経学会

お問い合わせ:妊娠と薬情報センター開設6周年記念フォーラム事務局
〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
TEL: 03-5494-7845
HP:<http://www.ncchd.go.jp/kusuri/>
お申込み方法:HPより受付(電話による受付はしていません)

*上記プログラムの内容は予告なく変更になることがあります

